



## 「ディスクロージャー優良企業」受賞に寄せて

株式会社小松製作所（コマツ）執行役員経営管理部長 今吉 琢也

この度は2018年度機械部門の「ディスクロージャー優良企業」に選定頂き、誠にありがとうございます。お陰様で弊社としては8回連続12回目の受賞となり、大変に光栄に存じます。

弊社では創業者の精神をベースに先人達が築き上げてきた弊社の強さ、信念、価値観、行動様式をまとめたコマツウェイをグループ全体で共有しております。この中の経営トップの心構えとして、全ステークホルダーとのコミュニケーションの率先垂範を謳っております。

弊社IRではこのコマツウェイを基に、永きにわたり経営トップがアナリストや株主・投資家の皆様との直接対話を自ら実施し、等身大のコマツを理解して頂く事に努めております。弊社の建設・鉱山機械事業／産業機械事業は需要変動が大きいいため、業績に大きな変動が生じる際、その変動理由を丁寧に説明するのもこの取り組みの一つと言えます。こういった地道な取り組みについて、今回アナリストの皆様には評価頂いたものと考えており、皆様方のご支援・ご指導のお蔭と深く感謝しております。

次に今年度の活動につきまして、幾つかご紹介させていただきます。まず今年度が最終年度となる中期経営計画については、取り組みの進捗状況等が外部の方にとって理解し易くなる様、簡潔明瞭な説明を心掛けてまいりました。またコマツIR-DAYでは、昨年当社が買収したコマツマイニング（旧

ジョイ・グローバル社）の坑内掘り鉱山機械事業、補給部品事業に関する事業説明会や、ICT建機の試乗体験付きのスマートコンストラクション見学会を実施致しました。2016年以来今回で3回目となったESG説明会においては、弊社の環境への取り組みやCSR活動として農林業支援の取り組みについて紹介させて頂きました。これらのイベントには多くの方々が参加され、大変良い評価を頂いております。

弊社はQC活動に力を入れている会社であることから、改善についても継続的に実施しております。今年は第2四半期決算より、弊社ホームページにおける従来からの決算説明会の音声開示に加え、質疑応答セッション音声につきましても開示することに致しました。これにより、弊社事業状況等に関する経営陣の生の説明をより幅広く国内外のステークホルダーの皆様にお届け出来る様になりました。

最後になりますが、今回の受賞は弊社IR活動に対する皆様からの激励とも捉えており、今後もコマツウェイに従い、アナリストや株主・投資家の皆様を含めたステークホルダーとの対話を通じて、地道に対話と情報開示のレベルアップに取り組んでいきたいと考えております。引き続き弊社の経営・ディスクロージャーに対し、ご指導・ご支援を賜ります様、何卒宜しくお願い申し上げます。